

## 「衛星コンステレーション時代の本格到来と将来展望」

【主催】: 一般社団法人日本写真測量学会、一般社団法人日本リモートセンシング学会

【共催】: 一般社団法人地理情報システム学会

## ● 開催日時: 2021年12月1日(水)~12月26日(日) オンデマンド配信 (測量CPD(2ポイント)対象)

上記の期間、G 空間 EXPO2021 公式 HP(講演・シンポジウム)<https://g-expo.jp/symposium/program.html>にて、本シンポジウムの講演動画をご視聴いただけます。

プログラムは、下記のとおりです。ご視聴後は是非、アンケート回答へのご協力をお願いいたします。

また、本シンポジウムは、測量 CPD ポイント(2ポイント)の対象となります。動画の全視聴 および アンケートのご提出の両方をもって、ポイントの申請を行うことができます。アンケート用紙、および CPD の申請方法は [こちら](#) をご覧ください。

## 【趣旨】

宇宙基本計画の改訂、小型衛星の相次ぐ打ち上げなど、2020 年は衛星リモートセンシング分野で大きな変化が起きた年であり、国産衛星や商用衛星においても次世代計画が次々と打ち出されている。いよいよ衛星コンステレーション時代が本格的に到来したと言えよう。他方で、AI の普及・実装等により、これらのビッグデータから価値ある情報を取り出すデータマイニング技術が進展し、従来の衛星リモートセンシングでは実現できなかった用途や事例が出現している。そのため、本シンポジウムでは、商用衛星や小型衛星を含む我が国および世界の地球観測衛星の現状と計画、新たな利用技術と分野に関する講演をオンデマンドで配信し、聴講者の理解を深めるとともに、将来を展望する機会としたい。

## 【プログラム】

|    | 講演タイトル                           | 講演者  | 時間     |
|----|----------------------------------|--|--------|
| 0  | 開会のご挨拶                           | 赤松幸生<br>(一社)日本写真測量学会 常務理事                      | 5分04秒  |
| 1  | ALOS-3、ALOS-4 の現状と将来計画           | 田殿 武雄<br>宇宙航空研究開発機構(JAXA)<br>第一宇宙技術部門 研究領域主幹   | 15分29秒 |
| 2  | 世界の地球観測衛星の動向と将来計画                | 葛岡 成樹<br>(株)サテライト・ビジネス・ネットワーク 代表取締役社長          | 17分07秒 |
| 3  | 商用光学衛星の現状と将来計画                   | 竹田 宏之<br>Maxar Technologies Inc. シニアセールスマネージャー | 9分11秒  |
| 4  | 小型光学衛星の現状と将来計画                   | 八木橋 宏之<br>スカパーJSAT(株) スペースインテリジェンス事業部長         | 9分27秒  |
| 5  | AxelGlobe の現状と将来計画               | 中西 佑介<br>(株)アクセルスペース 取締役 CPO                   | 9分50秒  |
| 6  | 小型光学衛星の現状と将来計画(CE-SAT)           | 丹羽 佳人<br>キヤノン電子(株) 衛星事業推進センター所長                | 10分49秒 |
| 7  | 全天候型地図情報提供サービス<br>ICEYE 衛星画像のご紹介 | 大竹 篤史<br>(株)NTT データ ソーシャルイノベーション事業部 部長         | 12分18秒 |
| 8  | 宇宙からの俯瞰データによる<br>「学習する世界」の実現     | 新井 元行<br>(株)Synspective CEO                    | 10分29秒 |
| 9  | AI を活用した衛星データ解析の取り組みについて         | 金本 成生<br>(株)スペースシフト 代表取締役 CEO                  | 10分34秒 |
| 10 | 衛星分析の基礎知識とその業界別活用事例              | 清水 邦夫<br>Orbital Insight シニアソリューションエンジニア       | 14分02秒 |

(合計) 2時間4分20秒